

# 「すべてに神を第一にする生活」

ヤコブ5：1～10

私たちは自分の問題はよく分かっています。しかし、なかなか改善されないのは、具体的な管理を果たしていないからです。ある脳科学者の本に、こう書かれていました。問題という現象が生じると、脳は原因を追究して解決しようとします。嫌な問題を回避するために、なぜそれが起きたのか原因を探ります。だから自分が悪かったという嫌な原因には行き着かず、人や環境のせいになります。この脳の構造を知れば、戦い方を変えることができます。例えば、嫌な人に感謝するためには、感謝する原因を脳に探らせばよいのです。すると、嫌な人だけ感謝なことがあったと思えることができます。赦せない人がいるときに、「赦せ」と言うと、脳は赦す理由を探し、赦すことができます。神様は、私たちが乗り越えられる手段を脳に与えてくれています。

## ■ すべてに神を第一にする生活

神を第一にする生活とは、「自分を第一にしない」生活ということです。自分を第一にすると自己中心であり、安定を欠いた人生になります。計画を自分中心に立てると自分のために、自分が楽なように、自分に非難がないようにするので、うまくいきません。あなたは、神を第一にする生活ができていますか？

## ■ 方法は多い、しかし原則は少ない。 方法は変わる、しかし原則は変わらない。

原則＝真理・本質と言い代えてもよいです。聖書はこうに言っています。方法は何通りもあってよいが、原則はいくつかだけ。方法は変わっていくが、原則を変えてはならない。しかし逆に、方法論にこだわり大事なことを見失っている人が多いのです。やり方や生き方の方法は変えず原則を変える、昨日今日言っていることが違うがやることは変わらない。私たちは原則を理解することが大事です。

ここに出てくる金持ちとは、日本人のあなたのことです。途上国の暮らしと比べて私たちはどれだけ豊かでしょうか。今日、もう一度私たちの生活が原則に違っていないか、一つ一つの行いが良いかを考えなければいけません。快楽にふたり自分の心を太らせ、欲望のままにむさぼっていませんか。私たちは任せられた物の管理、心の管理ができていますか。イエスは理不尽に死に至らしめられましたが、抵抗しませんでした。私たちも責めに対して抵抗してはいけません。合理的に判断して私は悪くないという理由にしてはいけません。聖書には約500箇所「信仰・祈り」、約2500箇所「金銭」に関して書かれています。神様はお金を用いて、人の値打ちを測っています。お金に対してきちんと管理できているでしょうか。最も小さなことに忠実な人は、大きいことにも忠実であり、最も小さなことに不忠実な人は、大きなことにも不忠実です(ルカ16:10)。今与えられているものをきちんと管理できなければ、次のステップのものを任せられません。今もし困難に遭っているなら、その目の前にある最も小さいことと思えることに忠実になり乗り越えてください。職場や夫婦など人間関係に問題があるなら、その回復を通してもっと大きな関係や絆の克服を任せたいと神様は思っています。神はあなたの人生のチャレンジをゆるされます。神はあなたが自分で進み、ズレた道を戻すきっかけを与え、戻ったときにその道へ行かない訓練をしています。

## ■ STP

STPはガソリン関係のメーカーのロゴです。あなたは行動を実行させる素晴らしいエンジンだが、ちゃんと使えないのであれば、大きいエンジンを持たせるわけにはいきません。エンジンは制御させられる必要もあります。あなたは今やっつけはけない時に動き暴発するので、制御できずに失敗します。準備ができていないのに、べらべらと無益なことばを言い、大事なものを失います。お金がまさしくそうだと聖書は言っています。私たちに任せられている大事なことを神様は制御するように言われています。だから2500回聖書に出てくるのです。あなたが任せられているものの価値を知らないで、正しい使い方ができないのです。私たちは経済について考えなければなりません。日本は経済的に豊かになりましたが、心は貧しくなりました。神は豊かになるのを否定されていないのに、金持ちと書かれているのを見て貧しくなければならぬとクリスチャンは勘違いしました。アブラハム、ソロモンは豊かでした。流していたからです。お金は流すものであって持つものではありません。コントロールできているのであれば問題はありますが、任せられたものを自己中心的に食い尽くしているのであれば、蒔く種をも失くしています。日本は蒔いて収穫する必要がないので、蒔く種の価値が分からなくなっています。種を失っているのであれば、刈り取れ

ません。教会に来ている人は、種を蒔くことを毎日学んで実践できるから幸いです。涙とともに種を蒔くものは、収穫の主とともに喜び叫びながら刈り取ることができます。

## ■ STP ①Stewardship 管理責任 ②Tithing 1/10 ③Planning 計画

STPは、企業での分析の意味にも使われます。Segmentation(どんな人たちがいるのか)Target(その中でどの人に)Position(自分たちはサービスをどう提供するか)です。ここではキリスト教的STPを学びたいと思います。

①「Stewardship 管理責任」あなたが譲ってはならないもの(本質)を見極めて、方法は絶えず柔軟に新たに生きる、という管理責任です。こうしたい・こうでなければならぬという方法論を捨て、本質・本来こうであるべきものを見つけてください。本質は愛に基づくものです。方法はいろいろです。神に遣わされたそれぞれの場所での本質を表す。使命に立って、自分の持てるもの・考え方・行動の一つ一つ・教会や会社や関わったすべてに対して、管理する責任があります。

②「Tithing 1/10」与えられた人生の10分の1を種まきに使ってください。あなたの家庭が幸せになりたいと思うなら、隣や周りの家庭のために使い、経済が祝福されたいなら、10分の1を種まきしてください。友人関係を良くしたいなら、友人のために。仕事で成功したいなら、仕事に真剣に10分の1を捧げるべきです。受けるだけになってはいけません。愛されたいなら、10分の1愛するべきです。持てる行える中から10分の1を与えなければいけません。そうでなければ腐ると書いてあります。蒔くためにあるものを納屋に閉まっておくと虫に食われ錆びてしまいます。隣で困っている人がいる時に、喜んで与えることができているでしょうか。

③「Planning 計画」ルカ14:26～35 私たちの人生は、基礎を築いても自分で建て上げようとしているのであれば、それを完成させることはできません。私たちの人生は2万人の敵に対して1万兵しかいないようなものです。私たちは全てを持っている神に目を向けるべきです。神様は家族を捨てて来いと言っているのはありません。神様を信頼して家族を捨てない、私があなたの家族を守ると言われています。家族の関係が悪くても、神様が必ず解決してくれます。捨てたために起こる奇跡は自分が変わるといふ奇跡です。そのために必要なのは計画です。弱点を突かれた時、譲ってはならない本質、大事な原則、大事な真理を壊すような誘惑に対して、計画を立てておく必要があります。自分の財産(父・母・妻・子・兄弟・姉妹)を捨て、そのうえ自分の命までも惜しまないで、持てる物理的なすべての物に計画を立てると言われています。あなたが塩ではなくになっている理由は、自らでは建て上げられないものを建て上げようとするからです。自分の弱点を克服できなければ、次のステップに行かないのです。克服する力は神様を与えますが、私たちはその時に神様に頼ろうとはしないのです。だから神様を第一にする生活を送ることが大切です。私たちはブリクラッシュセーフティ(衝突安全)機能がありません。「主よ、なぜ私はぶつかったのですか?なぜひどい目に遭うのですか」と、衝突してから安全を求めます。神様はあなたにぶつからない方法を教えてくれます。大事なものは、横から飛び出してきたときにどうするか、という計画です。もう一度、STPを思い返してみてください。私たちは10分の1を神様に捧げているでしょうか。あなたに問題が起きた時の計画を立てているでしょうか。問題が起きた時、農夫のように貴重な実を耐え忍んで待つてください。神に委ね、種を蒔き、自らを管理し、耐え忍んでください。きちんとコントロールして耐え忍ぶと雨が降ります。

わたしたちは言うてはならないことを言い、裁き合ってしまう。嫌いな人が視界に入ってきた時、あいつ嫌いと思いつけて脳に与えると、脳は構造上、さかのぼって、あの時もこの時も嫌だったという合理的理由・証拠を探して思い出さず。だから、その嫌いな人が目に入った瞬間、敵ではなく仲間と思うようにすると脳は、憎むな、仲間である理由・感謝なできごとなどを探し思い出せます。すると祝福を祈ることができるのです。人生は神が与えた一度きりのチャンスです。神から与えられた目的を到達するために計画が必要です。安心のためではなく、蒔くためです。だから7割で生活することが大切です。1割は神に返し、1割は目的を達成するため、1割はあなたの隣で苦しんでいる人のために。貪ってはいけません。貪りには罪があるからです。食べるにも飲むにも、神の栄光を表しましょう。

(要約者:高橋奈津江)

(2021年2月7日)